

開かれた議会 親しまれる議会を目指して

伊丹 秋
市議会
だより

令和7(2025)年11月20日 vol.257

CONTENTS

vol.257の主な内容

- P.2~4… 代表質問
- P.5 …… 個人質問
- P.6~7… 議案審査
- P.7 …… 議決結果
- P.8 …… 人事

委員会の視察報告
市議会からのお知らせ
議長の活動報告
会議の予定

各議員の質問等の動画をスマートフォン等で簡単にご覧いただけるよう、二次元コードを掲載しています。
(通信費は利用者負担になります。)



伊丹市議会HP



伊丹市マスコット
たみまる

代表質問

令和7年第4回定例会(9月2日～10月14日)では、各会派を代表して5人の議員が会派代表質問を行い、市政全般にわたる運営や将来の方針などが問われました。その一部を紹介します。なお、詳細については、ホームページや二次元コードからご覧いただけます。

伊丹市議会 **検索** 

市議会ホームページから
3つの方法でご覧いただけます。

①会議録検索システム(12月上旬に掲載予定)
②インターネット議会中継(ライブ・録画)
③代表質問・個人質問・一般質問・質疑の要旨

会派別議員一覧 伊丹市議会の会派構成は次のとおりです。

●公明党 代表 永松 敏彦 北原 速男 篠原 光宏 竹村 和人 松浦 晴美 前田伸一郎	●新政会 代表 杉 一 泊 照彦 (議長) 加藤 光博 戸田 龍起 土井 秀勝 花田康次郎	●伊丹維新の会 代表 齊藤 真治 大江ひろと 森 華奈子 鈴木 隆広 原 直輝	●フォーラム伊丹 代表 山藪 有理 (監査委員) 保田 憲司 大津留 求 岸田真佐人
●創政会 代表 鈴木久美子 (副議長) 川井田清香 新内 善雄	○会派に属さない議員 高塚 伴子 加柴 扶美		

新政会 

杉 一 議員 

習い事バウチャー制度*
～実現に向けた課題と対応策～

問 習い事バウチャー制度の事業実現に向けた課題と、その課題を克服するための手法、さらに実現するとなれば多額の費用を要することになるが、対応策を伺う。

答 本事業実施に当たり、最初に家庭の経済的な事情による子どもの体験格差を解消することが、優先して取り組むべき事項であり、小学生を対象にするべく、詳細な制度設計に着手している。また、習い事の範囲は、民間事業者等が有償で提供している小学校学習指導要領に準ずると認められ

るサービスを対象とするよう検討している。なお、本事業に係る運用費用は一般財源を活用することから、市を取り巻く社会経済状況に合わせた様々な行財政改革を着実に推進し、安定的な財源を確保することがまず重要な課題である。現時点では、財源に限りがあるため、一定の所得制限を設けて助成する制度を考えている。今後も不断の行財政改革に取り組み、制度を改良していけるよう取り組む。

*習い事バウチャー制度…スポーツや文化・芸術、学習に係る習い事に対して一定の費用を助成する制度

キャッシュ・フローから見た市立伊丹病院の現状と対応策

問 統合新病院の開院を控えた中において、キャッシュ・フローから見た市立伊丹病院の現状とその対応策を伺う。

答 令和6年度の資金期末残高は約16億2,000万円であり、前年度比で約14億7,000万円減少した。その主な要因は、令和5年度末に支払うべき退職給付金が、金融機関の非営業日であったため、令和6年4月1日にずれ込んだことに加え、令和6年度決算で、収益的収支に多額の当年度純損失が発生したこと及び、資本的収支で、企業債償還金に対応する資金需要が発生したことにある。キャッシュ・フローの観点からも、病院事業の安定的運営に向けた収支改善の取組が急務であり、資金確保策として、統合新病院の開院

に向けて収支シミュレーションの見直しを図り、その検証過程において、安定的運営に資する方策の検討を進める。



市立伊丹病院

公明党 

永松 敏彦 議員 

財政状況
～令和6年度決算を受けて～

問 市の財政状況に対する市長の認識について伺う。

答 令和6年度決算は、47年連続で実質収支の黒字を確保するとともに、行財政運営の枠組みを定めた行財政プランの財政規律を遵守しつつ、財政指標の目標値をすべて達成するなど、財政状況は健全性を維持できている。一方、財政力指数が低下傾向である上、経常収支比率が93.8%と高い点は留意が必要である。歳入における経常一般財源が潤沢とは言えない状況であ

るため、新規事業を実施する際はスクラップ・アンド・ビルドを基本としつつ、行財政改革にもしっかりと取り組み、引き続き持続可能な財政運営を確保していくことが重要である。



第4次伊丹市行財政プラン
(令和7(2025)年度～令和10(2028)年度)
令和7(2025)年1月
財政委員会 財政企画課 経理企画課

習い事バウチャー制度*
実施に向けて

問 どのような習い事バウチャー制度にすることを目指しているのか、市長の思いを踏まえて伺う。

答 習い事バウチャー制度導入を考えた背景は、小学生の頃の様々な体験活動がその後の成長に良い影響が見られると言われている一方で、

現時点では財源に限りがあるため限定的なスタートとし、今後、社会経済情勢に合わせた行財政改革に着実に取り組みながら、利用者の意見を踏まえつつ、制度を改良していけるよう努めたい。すべての子どもたちが健やかに成長でき、伊丹市で子どもを育てたいと思えるまちとなるよう、市政運営に尽力していく。

*習い事バウチャー制度…スポーツや文化・芸術、学習に係る習い事に対して一定の費用を助成する制度

伊丹維新の会 

原 直輝 議員 

習い事バウチャー制度
導入に向けた進捗

問 学齢期におけるスポーツや文化・芸術、学習に係る習い事の費用を一定助成する習い事バウチャー制度の構築に向けた進捗状況を伺う。

答 本制度は、次代を担う子どもたちに多様な学びや体験の機会を創出することを通じて、子どもたちの興味や個性を生かし、才能を伸ばす体験や、学力の向上により子どもたちの可能性を広げ、一人ひとりの成長につなげていくための環境を整えるもの

である。小学生の頃の様々な体験活動により、その後の成長に良い影響が見られると言われている一方、家庭の経済的事情によって十分な体験の機会を得られない体験格差が生じているのではないかの考えから、小学生を対象に、一定の所得制限を設けて助成することを考えている。現在、就学援助を受給している小学生の保護者に、習い事の状況や保護者の考えについて、9月末日までに回答するアンケート調査を実施している。

中学校部活動の地域移行

問 中学校部活動の地域移行に向けた展望と課題を伺う。

答 令和8年度中の完全移行を目指して、活動拠点を公共施設や民間施設などとする届出地域クラブと、中学校施設を使用する登録地域クラブを募集している。届出地域クラブは9月現在で活動数は88、登録地域クラブ

は、学校部活動で実施している37活動を見込んでおり、本市の大きな特色である。課題は担い手の確保、保護者からの相談対応、指導者の質の担保である。市は、地域クラブが守るべきルールとしてガイドラインを策定するとともに、地域クラブ活動を支援する中間支援団体と連携して課題解決を図る。中間支援事業のあり方を検討する実証事業では、ガイドラインの実効性を担保し、多様で安心して参加できる地域クラブ活動の実施体制を確保するため、継続的



中学校部活動の地域展開(移行)のリーフレット



大津留 求 議員



多文化共生に向けて
～市長メッセージ～

問 多文化共生のまちづくりを目指す市のトップである市長は、本年7月に行われた参議院選挙でのヘイトスピーチやデマの拡散をどのように感じたのか、多文化共生の観点から、市民に向けたメッセージは。

答 同選挙は外国人政策が争点の1つとなり、中には不確かな情報で外国人に対する不安や不満を刺激する街頭演説等があった。外国人に対する一面的なイメージが、分かりやすいキャッチコピーとともに拡散し、多くの人にマイナスの感情を広めてしまったのではないかと。そのような感情が、外国人や外国にルーツを持つ人の

多文化共生に向けて
～教育長メッセージ～

問 子どもたちや保護者、とりわけ不安を抱く外国籍や外国にルーツを持つ子どもたちに向けたメッセージは。

動は、子どもたちの心を深く傷つけるものであり、決して見過ごすことはできない。互いに価値ある存在として認め合う姿勢が求められる。児童生徒が多様化していることを前提に、教育基本方針で提唱しているカラフルな教育では、違いを豊かさにつなげる教育を理念としている。大人が子どもたちに示すべきは、排除や差別ではなく、理解と共生の姿勢である。差別は決して許

答 外国籍や外国にルーツを持つ子どもたちに対する差別的な言

価値観・文化への理解を妨げ、偏見や差別を生むことにつながるのではないかと危惧している。市に暮らす外国人等が地域社会の一員としてまちづくりに参加できる、多様性が生かされる社会が、目指す多文化共生社会と考える。変化の時代に多様性を生かしたまちをつくるには、不安・戸惑いの声を払拭するために何ができるのかを考えることが重要である。単に、ヘイトスピーチを批判するのではなく、そのような論調がなぜ受け入れられるのか等にも耳を傾け、分断や隔離ではなく連携や協調を推し進めるような政策が必要と考える。

されるものではなく、一人ひとりの尊厳を傷つける行為である。



令和7年度教育基本方針(概要版)



新内 善雄 議員



国民健康保険
～標準保険料率導入に向けて～

問 県は、令和12年度に同一所得同一保険料となる県内保険料率水準の統一を進めているが、市の対応と、市民への影響を伺う。

答 保険料水準の統一については、令和4年度の市国民健康保険運営協議会で、令和12年度に国民健康保険財政調整基金を活用し、被保険者の負担が急激に増加しないよう、適切な期間をかけて徐々に標準保険料率まで改定する方向性が示された。これを市

の方針として、各年度において基金の活用を必要を勘案しながら保険料率を検討し、今年度までは保険料率を据え置いた。標準保険料率の導入に向けて、今年度の同協議会で、保険料水準の統一期限までの具体的なロードマップを策定するとともに、保険料率のあり方を審議する予定である。なお、仮に今年度に保険料水準の統一がされていたと想定した場合、保険料率の平均的な増加額は1人あたり約9,600円と見込んでいる。

統合新病院での雇用確保
～近畿中央病院診療休止を受けて～

問 来年3月に近畿中央病院の診療が休止となるが、職員の雇用確保策と、統合新病院への職員の円滑な移行に向けた進捗状況を伺う。

ある。市立伊丹病院でも、近畿中央病院の診療休止後における地域医療体制の維持や、専門性の高い有資格者を確保する観点等から、可能な限り統合新病院の開院前における先行受入れについて積極的に検討を進め、来年4月より、医師・看護師・コメディカル・事務職等約100名規模の職員を受け入れる予定である。また、希望する近畿中央病院職員は、統合新病院開院前に一旦、別の場所で勤務した後に、計画通り統合新病院で採用することとしている。今後も

診療休止が与える影響を十分に精査し、雇用確保に努めるとともに、統合新病院の整備事業を確実に推進していく。▶公立学校共済組合による職員説明会は、本年9月18・19日に開催されました。



統合新病院のイメージ図

答 公立学校共済組合では、直営7病院や関連施設、近隣医療機関等において、雇用継続先確保に努めており、職員説明会を開催する予定で

個人質問

代表質問のほか、17人の議員が個人質問を行いました。ここでは、質問の項目のみを紹介し、代表質問同様、詳細については、ホームページや二次元コードからご覧いただけます。



公明党

- 北原 速男 議員
●障がい児の「18歳の壁」●中学校部活動の地域移行●投票率向上に向けての取組み
- 篠原 光宏 議員
●予防医療●小中学校における平和学習
- 竹村 和人 議員
●不登校の未然防止対策～睡眠教育を通じ基本的な生活習慣の確立を～●子どもの睡眠習慣～良質な睡眠で子どもの健康と成長を支えるために～
- 松浦 晴美 議員
●災害関連死を防ぐ対策●5歳児健診導入と就学に向けた切れ目のない支援
- 前田伸一郎 議員
●エッセンシャルワーカーの人材確保の取り組み●睡眠を中心とした幼少期からの生活習慣の確立●自転車の交通安全の取り組み

伊丹維新の会

- 齊藤 真治 議員
●築40年を超えるマンション等の建て替え●JR伊丹駅周辺整備●学校現場における香害・化学物質過敏症
- 大江ひろと 議員
●老人クラブ●モーターボート競走事業
- 森 華奈子 議員
●中学校部活動の地域移行●病児・病後児保育施設設置・運営事業
- 鈴木 隆広 議員
●LINEのセグメント配信●市民広場「ひろまる」の稼働状況●行政評価とヒューマンリソース戦略

新政会

- 泊 照彦 議員
●令和9年開院予定の市立伊丹病院の課題●いたみ交流センター建設費は今後、処分する5つの共同利用施設と相殺できるのか●テクノフロンティア伊丹のその後の取組●中学校部活動の地域移行問題のその後の進展●Jアラート(全国瞬時警報システム)はどの程度市民に周知されているのか
- 土井 秀勝 議員
●伊丹空港●産婦健康診査及び助成金を拡充した新生児聴覚検査費助成事業
- 花田康次郎 議員
●入れ墨、タトゥー●人事評価●習い事バウチャー制度

フォーラム伊丹

- 山岡 有理 議員
●吃音に関する現状確認●骨粗しょう症予防のための骨密度測定●いたみっ子おでかけバス
- 岸田真佐人 議員
●給水スポット●上下水道局の啓発・教育活動●ギャンブル依存症対策

創政会

- 鈴木久美子 議員
●共同利用施設●指定管理者による料金設定と営利・非営利の判断基準●都市計画道路山田伊丹線昆陽泉町工区

会派に属さない議員

- 高塚 伴子 議員
●公共施設の貸室●近畿中央病院診療休止による市立伊丹病院への影響
- 加柴 扶美 議員
●教職員のメンタルヘルス●児童くらぶにおける夏季休業中の状況と児童支援員の人員確保●熱中症対策と低所得世帯への光熱費(電気代)補助

議案審査

令和7年第4回定例会では、**議案は31件**でした。

ここでは、全議案と、これらの議案が付託された4つの委員会の内容をご紹介します。

なお、議案名の横にA～Cとあるのは、賛否が分かれた議案です。各議員の賛否は7ページの議決結果をご覧ください。

文教福祉常任委員会

- 令和7年度 国民健康保険事業特別会計補正予算
- 令和7年度 後期高齢者医療事業特別会計補正予算
- 令和7年度 介護保険事業特別会計補正予算
- こども発達支援センター条例の一部改正
- 物品の取得(2件)
- 負担付きの寄附の受納
- 損害賠償請求事件に係る和解

都市企業常任委員会

- 令和7年度 病院事業会計補正予算
- 市道路線の認定
- 令和6年度 水道事業会計未処分利益剰余金の処分
- 令和6年度 工業用水道事業会計未処分利益剰余金の処分
- 令和6年度 下水道事業会計未処分利益剰余金の処分
- 令和6年度 モーターボート競走事業会計未処分利益剰余金の処分

議決結果

議案は、委員会審査のあと本会議で議決されます。

第4回定例会の**議案31件**全てが**可決・認定**されました。



議案報告意見書 **17件**
13件
1件

総務政策常任委員会

○令和7年度 一般会計補正予算

20億4,772万6千円を追加補正

- ◆子育て世代への支援
 - ・物価高騰対応として子育て世帯の負担を軽減するため、令和8年2月・3月分の小学校給食費が無償化されます。
 - ・待機児童ゼロを継続するため、保育需要の増加が見込まれる市南部地域において民間認可保育所の設置・運営事業者の誘致が行われます。
- ◆安全を守るための取組
 - ・施設利用者の熱中症対策や災害時の避難所環境の向上を目的とし、スポーツ施設等で体育館空調設備が整備されます。
 - ・伊丹スポーツセンターの体育館機能強化と避難所環境向上のため、各階にバリアフリートイレが整備されます。
 - ・新型コロナウイルスワクチンの定期予防接種について被接種者の自己負担の軽減が図られます。
 - ・市内企業からの寄附を活用し、障害者デイサービスセンターの経年劣化した車両4台が更新されます。
- ◆都市ブランディングの推進
 - ・伊丹市の「住みやすさ」をブランド化し、市民の満足度や愛着度を向上させるため、市の理念や存在意義(パーパス)に共感を得ることによるブランド価値向上の戦略構築が図られます。
 - ・SNSや動画など広報の質を高め、住民への効果的な情報発信を実現するため、専門的な知見を有するクリエイターを採用し、メディアを効果的に活用されます。

その他の議案
○個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正 **A**

決算審査特別委員会

○令和6年度 一般会計歳入歳出決算 **B**

一般会計決算規模は歳入約959億円、歳出約946億円

令和6年度は、日本経済が緩やかに景気回復する一方で、物価の上昇に賃金の伸びが追いつかず、市民生活は「ゆとり」を実感できない状況が続きました。

本市では、阪神間で初の中学校給食無償化が実施されるとともに、児童くらぶや産後ケア事業の充実など、積極的に「未来への投資」が実施され、市民の皆様が希望を抱くことのできる「未来が輝くまちづくり」に取り組まれました。

令和6年度一般会計歳入決算額は958億9千万円で、前年度比54億円増(6.0%増)となっています。地方特例交付金は市税の定額減税の減収補てん等により、前年度に比べ9.1億円増加しました。市税は定額減税等による個人市民税の減などにより、前年度に比べ7.1億円減少しました。市債は新庁舎整備や消防施設整備に伴う地方債の発行により、前年度に比べ17.6億円増加しました。

また、一般会計歳出決算額は946億4千万円で、前年度比56億円増(6.3%増)となっています。扶助費は賃金・物価の上昇に伴う保育所保育委託料、障害福祉サービス費の増や、制度改正に伴う児童手当の増等により、前年度に比べ21億円増加しました。人件費は人事院勧告に伴う給与改定や、会計年度任用職員の勤勉手当の創設により、前年度に比べ16.9億円増加しました。普通建設事業費は新庁舎整備事業や消防施設整備事業、また民間保育所整備に係る補助等により、前年度に比べ21.2億円増加しました。

その他の議案

- 令和6年度 国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算
- 令和6年度 後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算
- 令和6年度 介護保険事業特別会計歳入歳出決算 **C**
- 令和6年度 鴻池財産区特別会計歳入歳出決算
- 令和6年度 荒牧財産区特別会計歳入歳出決算
- 令和6年度 新田中野財産区特別会計歳入歳出決算
- 令和6年度 病院事業会計決算
- 令和6年度 水道事業会計決算
- 令和6年度 工業用水道事業会計決算
- 令和6年度 下水道事業会計決算
- 令和6年度 交通事業会計決算
- 令和6年度 モーターボート競走事業会計決算

委員会付託なし

- 固定資産評価審査委員会委員の選任
- 部活動の地域展開(移行)に対する国の財政支援を求める意見書

議会では本会議から委員会に議案を付託して、詳細な審査をするんだ。3つの常任委員会(総務政策・文教福祉・都市企業)と分科会を設置した決算審査特別委員会で審査が行われたんだ。



賛否の分かれた議案

A 個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正
B 令和6年度 一般会計歳入歳出決算
C 令和6年度 介護保険事業特別会計歳入歳出決算

会派名 議員名	A	B	C
公明党	可決	認定	認定
北原 速男	○	○	○
篠原 光宏	○	○	○
竹村 和人	○	○	○
永松 敏彦	○	○	○
松浦 晴美	○	○	○
前田伸一郎	○	○	○
新政会			
泊 照彦	○	○	○
加藤 光博(議長)	—	—	—
杉 一	○	○	○
戸田 龍起	○	○	○
土井 秀勝	○	○	○
花田康次郎	○	○	○
伊丹維新の会			
齊藤 真治	○	○	○
大江ひろと	○	○	○
森 華奈子	○	○	○
鈴木 隆広	○	○	○
原 直輝	○	○	○
フォーラム伊丹			
保田 憲司(監査委員)	○	○	○
山藺 有理	○	○	○
大津留 求	○	○	○
岸田真佐人	○	○	○
創政会			
川井田清香(副議長)	○	○	○
鈴木久美子	○	○	○
新内 善雄	○	○	○
会派に属さない議員			
高塚 伴子	○	○	○
加柴 扶美	×	×	×

○…賛成 ×…反対 —…議長は表決に加わりません。

人事

9月定例会において、次の方に同意しました。(敬称略)

▽固定資産評価審査委員会委員 川上 實

議長は、伊丹市議会を代表して広域的な会議などへの出席や、様々な行政課題の解決に向け取り組んでいます。(副議長が議長に代わって職務を行うこともあります。)ここでは、その一部を紹介します。

佛山市・伊丹市友好都市 締結40周年記念式典

伊丹市と中国・佛山市は今年、国際友好都市提携40周年を迎えました。これを記念し、伊丹市代表団として佛山市を訪問しました。4日間にわたり、記念式典への出席と佛山伊丹友好交流センター等の視察を行い、佛山市長をはじめ、国際交流に関わる多くの方々と交流しました。異なる文化に触れ、理解を深め、友情の種を育む草の根の交流を今後もさらに有意義なものにしていくよう進めていきます。



式典の様子

委員会の視察報告

都市企業常任委員会

(8/5) 神奈川県 平塚市 「まちなか活性化の取組」



平塚市

(8/6) 神奈川県 川崎市 「都市部における自動運転バスの取組」

飛行場問題対策特別委員会

(8/7) 神戸空港 「空港運営」



神戸空港

※詳細は、市議会ホームページをご覧ください。

市議会からのお知らせ

議員の寄附やあいさつ状は禁止されています。

議員は、選挙区内の人(法人、その他の団体を含む。)に対して、祭りなどへの寸志・差し入れ・お祝いなどの寄附や、年賀状・暑中見舞いなどの時候のあいさつ状(答礼のための自筆によるものを除く。)を出すことが、公職選挙法により禁止されています。また、議員に対する寄附の勧誘や要求も禁止されています。公正な政治活動を行うために、ご理解とご協力をお願いいたします。

本会議・委員会での質問及び答弁は、市議会ホームページからご覧いただけます。



※市ホームページのサイト内検索で「市議会事務局」と検索してください。

Screenshot of the city council website showing the search function for '市議会事務局' and a link to '伊丹市議会 インターネット議事会室 (ライブ・録画)'. A blue button at the bottom says 'ご覧になる場合は、ここをクリック'.

会議の予定

Calendar table showing the schedule of meetings from 11/30 to 12/27. Key events include the 5th regular meeting on 12/1, the 2nd-5th sessions of the council on 12/7-11, and the final council meeting on 12/23.

視覚障がいのある方を対象に、「朗読ボランティアグループ玉手箱」の皆さんの協力により、市議会だよりを朗読録音したCDを提供しています。希望される場合は、伊丹市立障害者福祉センター(アイ愛センター)へお申し込みください。 ☎072-772-0221 📠072-780-2897

請願・陳情の受付は随時行っています。あなたの声を伊丹市議会へ。

【伊丹市議会だより】編集発行：伊丹市議会事務局議事課 〒664-8503 伊丹市千僧1丁目1番地(市役所3階) ☎072-780-4090 📠072-784-8092 🌐https://www.city.itami.lg.jp 伊丹市議会だよりは86,700部作成し、印刷費は1部あたり7.56円です。